

ハイブリット例会 『ポリオ根絶活動のドキュメンタリー映像 「Drop to Zero」視聴(世界ポリオデー RI制作)』 担当:R財団・米山委員会

◆会長挨拶

10/3例会後、細則内規18条の規約に従い、ガバナー補佐経験者・宮坂勝彦さん、直前会長とその前2期の会長(計3名)・現会長・会長エレクトの6名にてガバナー補佐指名委員会を開催しました。【候補者1名】に絞り込み、その後、委員3名にてその候補者の方をお願いいたしました所、快諾を頂くことが出来ました。本日11時からの理事会にて全会一致で承認を賜りました。

2024-2025年 諏訪グループガバナー補佐として推薦させて頂く方は「山崎廣和会員」です。山崎会員はロータリー歴25年目、RC活動を熟知され勢力的活動されておられ、現在は地区においてRLI委員会の副委員長を務めていらっしゃいます。

今日は「第35期会長予定者井口光世会員」が出席されています。会長ノミニー受諾の喜びの一言を頂きたいと思えます。エコを代表されるお二人にどうぞ会員一致のご協力よろしくお願い致します。

次年度の理事・役員のおすすめについて、11月上旬には会員の皆様にFAX・メール致しますので、お名前を記入して事務局返信して下さい。11月下旬に理事役員指名委員会を開催し選出、理事会の承認を経て12/5年次総会にて会長ノミニー・ガバナー補佐候補者・第34期理事役員の人事案の承認を頂く予定となります。

8/29よりご案内のウィンドブレイカーが完成し本日皆様にお渡しすることが出来ました。詳しい説明は木下委員長よりして頂きますが、公共イメージ向上委員会木下委員長・高橋副委員長・熊澤委員兼デザイナーにご努力して頂きエコのテーマ「地球のために何かをしたい」を基にイメージカラーをグリーンとして古事記には倭の国を蜻蛉島(あきづしま)と呼んだと記されている程身近な生物「トンボ」をシンボルした素晴らしいウィンドブレイカーです。10/30の岡谷クラブ、ボーイ・ガールスカウト合同の市役所周辺清掃の時にお披露目できるように急ぎ間に合わせて頂きました。8/29にも説明がありましたが、このウィンドブレイカーは会員各自に管理して頂きます。先ほどの理事会でお一人千円を負担して頂くことの承認を得ましたのでご報告致します。

10/5から3日間ネパール中西部で季節外れの豪雨が続き、デウクリ地区も甚大な被害を被っているとのことです。早速本日の理事会でご審議頂き全会一致で災害支援金として5万円を予備費より送らせて頂くこととなりました。また「やまびこ奨学金」ですが、今期もコロナリスクが大きいので12月中旬をめどに災害支援金と共に左近さんに相談して日本事務局へ振り込ませて頂くことを承認頂きました。

10/24本日は世界ポリオDayです。昨日10/23諏訪グ

ープ合同の「ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会」が開催され刈学中心のメンバーに参加頂きました。その際のチャリティー募金へ多大なご協力を受けたと聞いております。ありがとうございました。本日も例会中ポリオドネーションBOXを回しますので皆様のご協力よろしくお願い致します。また、昨日の市民新聞に諏訪グループによるポリオ撲滅の広告が大きく掲載されました。広告の協賛として各クラブ10,000円を負担致しました。今回は企業名を掲載しないと言うことで広くご案内はいたしませんでしたが、エコにおきましても1法人@2,000×5社協力頂きました。副会長・会長エレクト・直前会長・会長・幹事の5社です。ここに御礼申し上げます。

本日もハイブリット例会にあたりデジタル推進委員会の内澤委員長さん・向山副委員長さん今井幹事さんにご努力頂きました。ありがとうございます。

◆2024-2025年 諏訪グループガバナー補佐決定 山崎廣和会員

◆第35期会長予定者 井口光世会員



◆幹事報告

- ・世界ポリオデー(先週から本日まで) 昨日 諏訪グループ ポリオ撲滅チャリティーゴルフ 8名参加
- ・10月30日(日)ロータリー奉仕デー 岡谷RC・ボーイスカウト・ガールスカウト合同 清掃活動
- ・理事会にて例会開催基準変更 感染レベル4と5の場合 正午開始 弁当用意(※会場での食事可能)
- ・11月6日 地区大会 7時45分 マリオ集合

◆委員会・同好会報告

《社会奉仕委員会》

- ・11月5日(土)自然の玉手箱「諏訪湖ワカサギ釣り」と諏訪湖探索/みなとの歴史を学ぶ

集合：川岸小学校 8時20分

《環境保全委員会》

・10月30日(日) ロータリー奉仕デー美化活動 集合：6時55分 カノラ駐車場
持ちもの・服装：軍手・マスク・クラブウインドブレーカー着用

・10月16日(日) 諏訪湖一斉清掃 参加8名
・エコ桜並木の手入 11月中旬頃予定 業者手配

《公共イメージ向上委員会》

・エコウインドブレーカー配布 自己負担 1,000円

《国際奉仕委員会》

・ネパール・タルー族奨学金 36万円 12月中旬送金
※5月の例会にて左近さんより報告
・デウクリ大水害 速報 左近さんより ※水害義援金 5万円送金予定
・タルー語・ネパール語・英語辞書贈呈
タルー族福祉委員会 プラカッス・クマール・チョウダリー代表からの手紙紹介

◆同好会報告

《刈学》

・11月13日(日) 秋の勉強会 参加のお願い

《釣学》

・11月5日(日) 諏訪湖ワカサギ釣り(自然の玉手箱と合同開催)
釣学のみ参加の場合 集合：正午 湖畔公園駐車場
※ 8時30分 自然の玉手箱の準備のお手伝い出来る方は協力お願いします

◆ポリオ根絶活動のドキュメンタリー映像

[Drop to Zero] DVD視聴

ポリオは数千年間人類を苦しめてきました。人から人へと移りながら感染の連鎖が途切れることはありませんでした。1950年のはじめアメリカでポリオが大流行し6万人近くが手足のまひに陥りました。ポリオは汚染された水、食べ物、排泄物を通じて感染します。ウイルスが腸内で増殖すると多くの子どもの場合 軽いインフルエンザのような症状が出ます。しかし200人に1人のケースでウイルスが脊髄に達し手と足の筋肉を動かす神経細胞を攻撃し、まひ障害を引き起こします。最悪のケースでは死にいたりします。

1954年大流行の最中、JYナス・ソーク博士が注射によるワクチンの臨床試験を行い希望の光が見えました。その約5年後、アルバート・セービン博士がより安価で簡単に投与できる経口ワクチンを開発しました。ソーク博士はポリオの終息は、もはや科学的な問題ではなく社会的・経済的な問題だと。

国際ロータリー(奉仕に献身する事業と職業のリーダーのグループ)が創立75周年記念となる世界的プロジェクトを探していました。最初に世界保健機関にポリオ根絶での協力を持ちかけたとき、何も知らない素人たちが何を言っているのか、ロータリーが役に立てることは何もないという感じでした。こうしてロータリーは単独で取り組みをはじめました。世界各地での一斉予防接種プログラムにボランティアとワクチンを送ったのです。簡単に投与できるワクチンがあることを知っていたので医療従事者でなくても子どもの口にワクチンを2滴たらすだけでした。

1979年フィリピンで600万人の子どもへの大規模な予防接種を実施しました。これが成功したのです。ロータリーはさらなるキャンペーンのために募金を行いました。

た。目標を上回る1億1900万186ドルを募金しました。今や世界保健機関の目にも留まりました。再び訪問し2億4800万ドルを達成したと伝え、根絶のために一緒に活動しますか?と聞くと今度は世界保健機関から「イエス」と返ってきました。一つのボランティア団体が公共と民間からの協力を取り付けたという事実は人類にとって非常に大きなことだと思います。

1988年世界保健機関は官民のパートナーシップである「世界ポリオ根絶推進活動」を立ち上げました。ロータリーの夢を正式に採択したのです。各機関と政府が互いに協議するよう国際ロータリーによる働きかけがなければ世界ポリオ根絶に着手することはなかったでしょう。国連児童基金がワクチン購入と配給に同意。米国疾病対策センターは全世界でのウイルス検知を担当。ロータリーは根絶を成し遂げるために地域社会と政治のリーダーを動かすという点でカギとなってきました。世界保健機関が根絶活動の戦略を指揮、ロータリーは引き続きボランティアの提供と資金調達、そして全世界で根絶への働きかけを行っています。懐疑的人も多くなりました。毎年2.5億~4億人の子どもに予防接種をするという膨大な規模を考えただけでも気が遠くなるのです。

根絶プログラムが1988年に始まったとき、目標はポリオ根絶を2000年までに実現することでした。この当初の目標は叶わなかったものの感染国の数は125カ国から9カ国に減少。遠隔地にワクチンを届けるためポリオ根絶では「コールドチェーン」と呼ばれる世界的ネットワークを築きました。ワクチンの効き目を守るためです。コールドチェーンは民間の薬剤会社から始まります。これらの会社はユニセフに数十億服ものワクチンを提供。このワクチンは保管、管理され、世界中のポリオ根絶プログラムに輸送されます。世界ポリオ根絶プログラムでは、目標達成に近づくにつれ一層の努力が必要です。世界の子どもに約束をしました。まだ約束を果たしていませんが、決してあきらめません。政府や自治体からの引き続きのサポートを得るために皆さん一人ひとりの支援が必要です。

会員の仲間、ご家族、ご友人にこの活動について伝えご寄付を募ってください。ポリオ根絶へのご寄付には、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から寄付の2倍の額が上乘せされます。また地区財団活動資金を寄贈すると同額が国際財団活動資金から上乘せされます。ゲイツ財団からの2倍の上乘せと合わせると寄贈された地区財団活動資金は6倍となって生かされます。この大切な資金は人びとの命を救います。それは私たちの歴史、ビジョン、そして後世への遺産です。

最後に井口光世委員長より R材団寄付と米山記念奨学会寄付のご協力 お願いいたします。



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

- ラッキー No.17 佐久間茂雄会員 ニコニコするメッセージをお寄せ下さい
- ニコニコBOX 27件 43,000円
- 出席報告 会員数 46名
- 出席 会場35名 (内オンライン3名)
- 欠席11名 出席率 77.08%

今週のプログラム 11月6日(日)

あんずホール(更埴文化会館) / 地区大会

次週のプログラム 11月14日(月) PM0:00

マリオ / 地球温暖化のウソ、ホント 環境保全委員会